

福音集会

すべてを含むキリストを
享受する

日時

2024年3月24日(日曜日)

14:00~15:00

八王子に在る教会(召会)

目次

聖書の御言葉

2 ページ～

詩歌

4 ページ～

集会所所在地・連絡先

表紙裏

聖書の御言葉

創世記 第2章 2～3節：

- 2 第七日に、神は行っていた彼の働きを終えられた。そして第七日に、神は行っていたすべての働きから安息された。
- 3 そして、神はその第七日を祝福して、それを聖別された。それは、その日に神が、創造し、そして造ったすべての働きから安息されたからである。

マタイによる福音書 第11章 28～30節：

- 28 すべて労苦し重荷を負っている者は、わたしに来なさい。そうすれば、わたしはあなたがたに安息を与える。
- 29 わたしは心の柔らかなへりくだった者であるから、わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい。そうすれば、あなたがたは魂に安息を見いだすであろう。
- 30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。

エレミヤ記 第31章 3節：

- 3 エホバは遠くからわたしに現れて言われた、「まことに、わたしは永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたを、慈愛をもって引き寄せてきた。」

申命記 第8章7～10節：

- 7 それはエホバ・あなたの神が、あなたを良き地に導こうとしておられるからである。そこは水の流れ、泉、源泉があり、谷間と山々に流れている地であり、
- 8 小麦と大麦とぶどうといちじくの木とざくろのある地、油のオリブの木と蜜のある地であり、
- 9 あなたが欠けることなくパンを食べる地であり、あなたはそこで何も欠けるものはない。その地の石は鉄であって、その山々からは銅を掘り出すことができる。
- 10 あなたは食べて満ち足り、エホバ・あなたの神があなたに与えられた良き地のゆえに、彼をほめたたえなければならない。

詩歌 1 番

ぼく者なるイエスは、われら、みちびく。

かこいから出して、豊富なまきばへ。

(復)栄光なるチャーチャライフ、供給は何と豊富!

いのちを享受して、いちの生かつす。

- | | | |
|---|------------------------|---------------------------------------|
| 2 | 飢えつかれたとき、
良き地へみちびき、 | 主はたずね出し、
ひとの霊、供給す。 |
| 3 | まき場は主ご自身、
ひつじなるわれら、 | われらの糧しよく。
つねに食べ飽く。 |
| 4 | あさつゆともない、
いやすいずみから、 | 高山の ^え 上に住む。
飲めば、ああ、しん鮮。 |
| 5 | ひつじまもらるは、
うれいはなくただ | 主の臨在による。
安そく、享受あり。 |

(全訳)

- 1 イエスはわたしたちのすばらしい牧者であって、わたしたちを囲いから出して、
豊富な彼の牧場に、囲いのない彼の豊富へともたらしめます。
(復) 栄光なる召会生活、そのような豊富な蓄えから祝宴します！
ここでわたしたちは一の中に住み、神は命を永遠に命じます。
- 2 分裂の中で彼は、疲れて食物に飢えていたわたしたちを捜しました。
彼はわたしたちを良き地へともたらしめました。
おお、わたしたちの霊にとって何とすばらしいことでしょう！

(全訳)

- 3 イエスご自身はわたしたちの牧草であり、彼はわたしたちが食べる食物です。
わたしたちは彼の羊として、毎回、共に集まるときはいつも豊かに養われます。

- 4 わたしたちはここで高い山に住み、
新鮮な朝露で潤され、泉でわたしたちの渴きをいやします。
水はとても生き生きして新しいのです。

- 5 キリストはわたしたちの安息また享受であり、
ここでわたしたちには何も恐れるものはありません。
ここですべての羊は安全に住み、彼の愛すべき臨在によって守られます。

詩歌 2 番

よろこびがありますか? 生き

がいがありますか? 過ぎてゆくものご

とに、安そく、なぐさめなし。全世

かいを得たとしても、主が

なければ価値がない; キリストに満ちた



2. とみとあいとめい声を, きわみまで得たとしても,
 とつ然あらし来るとき, やすみ場ありますか?
 全世かいを得たとしても, 主がなければ価値がない;
 とつぜんあらし来るとき, キリストこそちから!
3. キリストを得なければ, ただつみとかなしみだけ!
 キリストを得なければ, 何のかいけつもない!
 全世かいを得たとしても, 死のときはかならず来る;
 キリストを得なければ, くらやみがあるのみ。
4. 主イエスにはかん喜あり, こころいやすあぶらあり,
 主はつみをゆるされた, よろこびわき上がる。
 イエスあれば, イエスがあれば, すべてのはすばらしい!
 イエスあれば, イエスがあれば, 無げんのほう富得る。

1. もし全世界をすべて得たとしても、救い主を失ってしまえば、
ここで一日でも生きる価値があるでしょうか？
間もなく過ぎ去るものに、
安息と慰めを見いだすことができるでしょうか？
もし全世界をすべて得たとしても、救い主を失ってしまえば、
得たすべてのものはわたしの生涯に十分なのでしょうか？
地上のあらゆる快樂は、主の命に満ちることに比べられません！
2. たとえあなたが豊かに富と愛情を得て、
遠くでも近くでも有名になっても、
前途にはなおも望みがなく、
あなたという船を停泊させる港はありません。
もし全世界をすべて得たとしても、
救い主、すなわちあなたのために死なれた主を失ってしまえば、
この世はあなたに、
逃げ込んで永遠に住める避け所を提供してくれるでしょうか？
3. 何とおなしいことでしょう！ もし救い主がいなければ、
地上にあるのはただ罪と苦難です！
永遠の世では何という暗やみでしょう！
もし救い主がいなければ、暗い夜と涙と苦しみが無限にあります！
もし救い主がいなければ、たとえ一時的に生きることができても、
死の時が臨むなら、どうするでしょうか？
ああ、必ず主がおられない暗い谷に落ちます！
また永遠に至るまで、絶えず主を持たないままになります！
4. 主にあってすべてを得るとは、何という喜びでしょう！
傷ついた痛む心を何と慰めてくださることでしょう！
彼が赦されない罪はなく、彼が担われないいかなる困難もありません。
あなたが主を持つなら、ただ主キリストを持つなら、
たとえ全地に彼以外、何も持たなくても、
ああ、あなたは彼の中ですべてを持ち、
あなたの必要は満たされ、無限に豊富です。

詩歌3番

イエスやさしく呼びたもう, いますぐかえれ!と。

とおく愛の主をはなれ, なぜさまようや?

(復)主 やさしく, きょう呼びたもう!

主, 呼びたもう, ゆえ, いますぐかえれや。

2. おも荷負うもの来たれと, きょうこの日, 呼びたもう!
 ながおも荷を下ろせや, 主のもとに来て。

3. イエス, つみをゆるすため, きょうこの日, 待ちたもう!
 とく主のもとに来たれ, つみのあるまま。

4. イエス, いまなお呼びたもう, 主のこえ, いま聞け!
 主よ, と呼べばかならず, なれはすくわる。

1. イエスは慈愛の声を発し、あなたが戻って来るように召しておられます。
今あなたを召しておられます！ 今あなたを召しておられます！
なぜなおもさまよい、主の愛の懐から遠く離れ、
終日、苦しい地でさまよっているのでしょうか？
(復)
今あなたを召しておられます！ 今あなたを召しておられます！
イエスは今あなたを召しておられます。
今、慈愛の声を発し、あなたを召しておられます！
2. イエスは労苦している者が来て安息するように召しておられます。
今あなたを召しておられます！ 今あなたを召しておられます！
重荷を彼に下ろしなさい。
拠り所がないことから拠り所があることに変わり、
彼は迎え入れてくださり、絶対に見捨てることはありません。
3. イエスはあなたが来て赦しを得ることを待っておられます。
今あなたを待っておられます。今あなたを待っておられます！
あなたは罪のあるまま来て、主の御前にひれ伏しなさい。
今すぐ来なさい。もはや疑って先延ばししてはなりません！
4. イエスはなおも召しておられます。聞き従おうではありませんか？
今、彼に聞き従いなさい！ 今、彼に聞き従いなさい！
来て彼の御名を呼び求めるなら、必ず無限に恵みを受けます。
彼は無上に祝福を与えてくださいます。

詩歌4番

いま、主は生ける霊、主は実さい。

たん純に主を呼び主を享受す。

(復)イエスは生ける霊といまさけぶ。

御名を呼ぶものに主はゆたか。

- | | | |
|---|-------------------------|-----------------------|
| 2 | 自由あとう主、
あじわい見よ、 | うちにいま生きる。
主のすばらしさ。 |
| 3 | いま、主は生ける霊、
いのり読みにより、 | 主はことば。
主に触れる。 |

- | | | |
|---|-----------------------|-------------------|
| 4 | せい徒にながれる
いのちのまじわり、 | 生ける霊は、
いちとする。 |
| 5 | 生ける霊、ゆたかな
からだ享受すれば | 主のしゆく宴。
賛美ながる。 |

(全訳)

- 1 イエスは生きている霊であり、わたしたちの実際です。
わたしたちは彼を、ただ単純に呼ぶことによって享受します。
(復) イエスは生きている霊であると、わたしたちは今宣言しなければなりません。
彼は彼の御名を呼び求める者たちすべてに豊かです。
- 2 彼は今わたしたちの内に生きておられ、自由を与えておられます。
わたしたちが味わい見るとき、彼は良く、恵み深いのです。
- 3 イエスは生けている霊であり、生ける言です。
わたしたちが祈り読みによって彼に触れるとき、この主を受けます。
- 4 イエスは生きている霊で、わたしたちの間を流れています。
霊の中の命の交わりは一をもたらしめます。
- 5 イエスは生きている霊で、彼はわたしたちの豊かな宴席です。
からだとして彼を享受するとき、賛美は増し加わります。

詩歌 5 番

かみ は 地 を そ な え、われら 所有する。

かみ は あら 野 に て、たみ を 見 いた す。

おも 荷、つみ を 捨 て、のぼ っ て は い ろ う。

ハレ ル ヤ、ハレ ル ヤ、ハレ ル ヤ、ア ー メ ン。

- 2 かみ、御子の勝利で、
勝利のはたかかけ、
われらのひつ要は、
ハレルヤ、ハレルヤ、
みちをそなえる。
たたかいに勝つ
したがい通すこと
ハレルヤ、アーメン。
- 3 おかもたにもある、
生けるみずの源泉、
キリストなる地に、
ハレルヤ、ハレルヤ、
みずながれる地
あふれながれる。
われらかたく立つ
ハレルヤ、アーメン。
- 4 かみ、実を生長させ、
オリブ、ざくろ、みつ、
地の産ぶつのみが、
ハレルヤ、ハレルヤ、
地は産ぶつ満つ。
いちじく、ぶどう。
われらのひつよう。
ハレルヤ、アーメン。
- 5 食べて豊満となる。
信じつな主のゆえ、
ここにすべてある、
ハレルヤ、ハレルヤ、
よろこび、主ほむ。
やくそく成就す。
決して後たいせず。
ハレルヤ、アーメン。

- | | |
|-------------|------------|
| 6 われらろう苦して、 | 地にてはたらく。 |
| 「マナ」を期たいせず、 | 正常にはたらく。 |
| しゅうかくのために、 | かみと協りよくする。 |
| ハレルヤ、ハレルヤ、 | ハレルヤ、アーメン。 |
-
- | | |
|-------------|-----------|
| 7 労苦は実をむすび、 | 価値をもたらず。 |
| 主は地を刈るとき、 | しゅうかくを得る。 |
| 主にみちをそなえ、 | 日ごとにろう苦す。 |
| ハレルヤ、ハレルヤ、 | ハレルヤ、アーメン |

(全訳)

- 1 神はその地をわたしたちの前に置かれました。わたしたちはその地を所有します。
神は最後に、荒野の疲れた民を見いだしました。
あらゆる重荷と罪でダウンしています。上って行って入りましょう。
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、アーメン。
- 2 神はご自身の御子の勝利を通して、わたしたちの前の道を一掃されました。
わたしたちの前に勝利の旗を掲げて、彼はすべての戦いを勝ち取られました。
わたしたちが行なうべきことはただ、信仰によって従い通すことです。
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、アーメン。
- 3 それは丘と谷、水の川が自由に流れる地です。
豊富な源泉と生ける水、豊かに流れる川。
兄弟たち、わたしたちは喜んで彼の約束、地なるキリストに立ちます。
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、アーメン。

(全訳)

- 4 神はここで実を生長させ、地は甘い産物で満ちています。
オリーブ油とざくろ、いちじくの木、蜜、ぶどうの木、小麦。
わたしたちは他の何も必要でなく、ただ地が備えるものを必要とします。
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、アーメン。
- 5 わたしたちは食べて豊満へと至りました。そして喜びをもって主をほめたたえます。
それは、彼が良き地を与えてくださったからです。
彼の約束された言葉に対して信実です。
ここでわたしたちは、何の欠けるものもないことを見いだします。
わたしたちは決して、決して後戻りしません！
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、アーメン。
- 6 わたしたちはただ労苦し、毎日、地の上で働く必要があります。
「マナ」の祝福を期待するのではなく、正常に働きます。
わたしたちが収穫を待っているとき、神と人は協力します。
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、アーメン。
- 7 こうして労苦は地の増し加わりとそのすべての価値をもたらし、
主は来て地を刈り取る時、収穫を得ます。
主に道を備え、わたしたちは日ごとに労苦しなればなりません。
ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、アーメン。

八王子に在る教会(召会)集会所

〒192-0904

東京都八王子市子安町1-26-14

ダイワ子安ビル201

<地図>



電話番号：042-646-7333

ホームページ (URL) : <https://church-in-hachioji.com>

ホームページQRコード

